

2021年11月10日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

複数のコンテンツ配信ネットワーク(CDN)を利用した CUVIC Multi-CDN サービスを提供
Web コンテンツの配信経路を冗長化し、動画やアプリケーションの安定した配信を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、複数の CDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービスを利用して安定したコンテンツ配信を可能とする「CUVIC Multi-CDN サービス^{※1}」の提供を本日から開始します。動画やアプリケーションの配信による CDN について、複数の CDN サービスにアクセスを分散したり、障害時のバックアップの経路を確保したりするサービスで、安定したコンテンツ配信が実現できます。Megazone Cloud Corporation が提供するコンテンツ配信の統合管理ポータル「CloudPlex Delivery」を活用したサービスで、電子商取引(EC)や動画、アプリケーションなど、多くのコンテンツを配信する企業を中心に展開し、3年間で300社の受注を目指します。

近年、スマートフォンやタブレットのスマートデバイスの普及に伴い、EC サイトやアプリ、スポーツや音楽などのライブ配信、動画を中心とした SNS サービスなど、コンテンツの安定した配信がインターネットサービスに求められています。CDN はそのようなデジタルコンテンツを様々な地域に配置しアクセスしやすくする仕組みで、コンテンツ配信サービスでは一般的に利用されていますが、キャンペーンによる大量のアクセスや障害が発生した時でも安定して配信できる更なる工夫が求められています。

今回提供する CUVIC Multi-CDN サービスは、複数の CDN サービスを利用してコンテンツへのアクセスを分散し、安定したコンテンツ配信を実現する CDN 管理プラットフォームです。複数の CDN サービスに対して管理ポータルを通してあらかじめトラフィック量の比率を割り当てることでアクセスの集中を回避し、特定のエリア内での遅延やアクセス不可に対応することができます。また、一つの CDN サービスに障害が発生した場合でも、自動で障害箇所を検知し最適な通信経路を検出して他の CDN サービスへ切り替えることができ、安定したサービス提供の継続が実現できます。

統合管理ポータル CloudPlex Delivery は、複数の CDN サービスの管理機能と API を通して連携しており、GUI の設定画面から CDN の選択・登録、トラフィックの制御・測定、優先ルート、キャッシュ(データの一時保存)の削除、障害検知などの一元管理が可能で、運用者の負担軽減にもつながります。また、ポータルには、各 CDN のパフォーマンス分析やコストの最適化といった機能もあるため、効率的に CDN を利用することができます。

今回、CUVIC Multi-CDN サービスでは、アマゾン ウェブ サービス(AWS)が提供する、低遅延の高速転送が可能な CDN「Amazon CloudFront」との廉価なセットメニューも用意しています。

CTC は、既に Amazon CloudFront を含めた複数の CDN サービスの提供実績があり、CUVIC Multi-CDN サービスの提供に加えて、導入に伴うコンサルティング、設定作業、運用支援サービス、クラウドを含めたシステム構築サービスなども提供し、お客様のクラウド活用をトータルで支援します。

今後も、サービスの安定提供に関連したソリューションの拡充に努め、お客様のデジタルトランスフォーメーションを支える環境を提供していきます。

※1 紹介ページ: <https://www.ctc-g.co.jp/solutions/cloud/solution/cdn/multi-cdn.html>

※ アマゾン ウェブ サービス、AWS および Amazon CloudFront は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail: press@ctc-g.co.jp